

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ハートフル・キッズ古河店		2025年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・空きスペースを有効活用しつつ、過ごしやすい環境を設定できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	・子ども1人～2人に対して、職員が必ず1人配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・ホワイトボードを活用し構造化した活動計画を視覚化（視覚支援） ・段差が少なく広々としている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・清掃チェック表を作成し、毎日管理 ・全ての療育終了後に毎日掃除を実施 -こども達の活動にあわせたゾーニングを設定	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・遊びたい場所で遊べるように、ゾーニングを工夫している ・危険物がないよう安全面は徹底している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎朝ミーティングを実施。事例共有しABC分析しながら 個別支援について検討実施	・第三者による外部評価を行うしくみを構築していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・アンケート結果や、直接のコミュニケーションから保護者等のお声を収集し、改善に向けて取り組んでいる	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・事例検討やタ方ミーティングでの共有 ・支援方法の見直し、提案を適宜行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者による外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・外部研修は計画のもと、各職員が受講し記録を残している ・内部勉強会を毎月実施している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・HPにて公表している	・個別療育のため、活動プログラムの立案は基本的に担当職員が行っています。今後は定期的に相談やミーティング等を行う中で、多職種で連携をしながら支援内容を考えていく場面を増やして行きたいと思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・半期に1度モニタリングにて情報共有 ・子どもと保護者、双方のニーズが反映されるように作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・全職員で共有し、意見を出し合っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・サービス担当者会議など、定期的に開催しPDCAをまわしながら支援を励行。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・アセスメントツールによるフォーマルなアセスメントや、日々の療育中のアセスメントにより、状況を把握。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・ガイドラインの「本人支援」「家族支援」「地域連携」等の各項目でねらい、支援内容を設定しながら支援を行っている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・ガイドラインをふまえながら目標を設定し、支援内容をチーム内で立案し適宜修正し実行している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・改善が必要な場合、内容を見直して反省点を取り込むように工夫している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・本人の特性や状況に応じ、楽しんで成功体験ができ、かつ様々な経験ができるように支援をしている	・活動プログラムは障害特性を踏まえ、大きな流れは変えずに課題を変更するなど、子どもがパニックにならずに活動を進めることができるようにしているケースもあります。 ・支援終了後には打合せを行っているが、共有が弱いと感じることがあります。しっかりと振り返りの時間を確保しながら実施していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・ミーティング（朝礼等）で一日の流れを設定し情報共有・個別支援は、担当者を決めて支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・毎日、業務終了時にその日の振り返りを行い、良かった点や悪かった点を確認している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎日、療育終了後に振り返りの記録をつけ、それをもとに半年ごとの個別計画の見直しを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・振り返りの記録等を参考に、半年以内にモニタリングを実施。 必要な時に計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・4つの基本活動を考慮した上でレクリエーション等を設定し支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・自己選択できるような支援内容を設定しています。 ・理解面と表出面を大事に考えた支援内容を工夫しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・お客様の状況をより理解している職員が参加できるように努めている。	・学校との情報共有は学校によってばらつきがあり、まだまだ丁寧にできていないケースが多いです。関係づくりを進め、もっと密に学校の様子を開ける体制を整えていきたいと思っています。 ・現在、児童館等と一緒に活動するなどのことは行っておりません。保育所等訪問支援や療育の場を見学してもらうなど、児童センターの職員の方たちとの連携は今後も続けて行っていります
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・地域の関係機関と連携、協調する姿勢（体制）は整っている機会があれば参画していきたいと思います。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・必要に応じて適宜連携している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6	・必要に応じて適宜連携している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・移行する事業所との間で、情報の共有を行うなどの体制は整っている。ご要望に応じて対応させていただきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・地域の児童発達支援センターとの連携を図り研修に積極的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・機会があれば参加していきたいと思っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・機会があれば参加していきたいと思っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎等の際にお子様の様子をお伝えさせて頂いたり、電子記録を提供させて頂く等して共通理解を深める様努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・活動状況を日々お伝えし、ご家庭での支援に活用いただけるよう 情報提供を行っている。	・「苦情は事業所の質を上げるための大事な声」と考え、真摯に受け止めつつ改善に努め
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・ご契約の際に説明させていただき、ご不明点は適宜ご説明させていただいている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・おこ様は、療育中にお話を聞いている。保護者は送迎時や電子情報ソフトを活用しご要望等お受けしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・説明を行い、追加のご要望などを聞き反映し、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・必要に応じて適宜、時間を設け相談対応を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・ご要望に応じて対応させていただいております。	・施設運営システムにて、子育てや問題行動への対応の手掛かりとなる情報を発信しています。 ・今後、地域との連携を深めるためのアクションを実施して行きたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情窓口を設定すると共に、お声を頂いた際には迅速且つ丁寧に、誠心誠意対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・月毎に、活動予定表を発信している。・施設運営システムを導入、活用し毎日活動の様子をご確認いただける取り組みを行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報同意書に記載されている機関とのみ共有している。また、個人ファイルは鍵付きの書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・より円滑にお伝えできるように努めております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	・今後検討し、参加できるようにしていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・各種マニュアルや指針、計画を策定し、いつでもだれでも閲覧可能な状態にしてある。計画的に訓練実施。	・各種マニュアルを設定し、いつでも閲覧可能な状態で置いてあります。マニュアルの内容について、職員の周知は万全とは言えないので、定期的な確認を実施していきたいと思います。 ・非常災害時の訓練につきましては、事業所内での訓練(職員のみ、利用者と一緒)を引き続き実施していきます。また、非常時にとるべき行動と避難経路につきましては、療育内での定期的な説明等を実施していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・各種マニュアルや指針、計画を策定し、いつでもだれでも閲覧可能な状態にしてある。計画的に訓練実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に詳しく保護者にお聞きし対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・保護者にも確認しながら、おやつを提供を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・計画に基づき、月1回の安全点検を行っている。又、毎日、危険なモノが場所ないか危機管理を徹底している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時より、計画内容をご説明し保護者様へ周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・再発防止策等ミーティングで情報共有している。 又、記録に残しファイルに保管。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な虐待防止研修を行い虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・切迫性、非代替性、一時性を満たしている場合とし、身体拘束を行った場合には記録をする。また、計画書にも反映する。	